

山田小学校だより (Metamorphose)

文責 校長 谷川晴峰

年末の「交通安全県民運動」が、始まりました！

今日から、長崎県交通安全推進県民協議会の主唱による「平成30年 年末の交通安全県民運動」が、下記の要領で実施されます。事故の無い年末年始とするためにも、御注意ください！

(記載してある文章は、本協会のホームページから引用しており、原文のままです)

期 間：12月12日(水)～12月21日(金)

スローガン：「一杯で 消える未来と 消せぬ罪」

重点目標：● 飲酒運転の根絶

● 高齢者と子供の交通事故防止

● 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトと
チャイルドシートの正しい着用の徹底



特に、子供たちに関係しているのが、スローガンの2番目です。

- 子供は「道路に飛び出さない」「道路で遊ばない」「横断歩道を渡る」などの交通ルールを守りましょう。
- 夜間・早朝・夕暮れ時などに外出する際には、明るい服装や反射材用品を身に付けるなど、運転者から見えやすい服装に心掛けましょう。
- 道路を横断する際は、左右の安全確認を十分に行い、横断歩道がある場所では横断歩道を利用するとともに、運転者に対して「手のひら」を示して横断の意思を伝えましょう。

家庭・学校・地域・職場では…

- 身近な道路での危険な箇所について話し合い、安全な通行方法などを確認しましょう。
- 夜間・早朝・夕暮れ時などに外出する際には、車に注意するよう声を掛けたり、明るく目立つ服装や反射材用品を身に付けるよう促しましょう。
- 歩きながらの携帯電話使用(歩きスマホ)の危険性についての浸透を図りましょう。
- 職場の朝礼、出発時の声掛け、各種会合などの機会を通じて、事業所全体で思いやり運転に心掛けるよう指導しましょう。

たかが掃除、されど掃除…キレイになるのは場所だけなのか？

右の写真は、ある学校の掃除時間の様子です。日本の学校の多くが、「掃除」の時間を日課表に位置付けていますが、欧米では、「掃除(指導)」という日課は存在せず、基本的には清掃作業専門の職員が、仕事として校舎内外の清掃をする場合が多いようです。

さて、「たかが掃除、されど掃除」です。あくまでも、指導の一環として取り組んでいく必要があると思います。しかし、現実的には厳しい状況もあります。果たして、家庭で雑巾を使って掃除をしているのか、掃除機のみで終わっていないのか？雑巾を絞れない子、箒(ほうき)の使い方が分からない子、ちりとりをうまく使えない子等、思わず「エッ??」と首をかしげたくなる場面にも出くわします。

掃除をすれば、その場所が綺麗になります。雑巾が汚れた分、美しくなります。楽な作業ではありませんし、面白みもないかもしれません。しかし掃除をすることは、自分の気持ちや心を磨くことにつながります。この写真のように、きちんと掃除ができる子供たちが、一人でも増えていこう、指導を続けていきたいと思えます。(年末の大掃除でも、鍛えてください！)

